

日本の国の成り立ち

名前

学習日

ポイント

- ① 大陸から米づくりが伝わり、人々の生活が大きく変化した。
- ② 米づくりによって富と力がたくわえられ、支配者が現れて小さくになが各地にできた。
- ③ 勢力の強い支配者（豪族）が連合して、大和政権（大和朝廷）をつくった。

基本問題

1

米づくりが始まった時代についての次の文章を読み、問いに答えなさい。

人々は初め、狩りや漁、木の実の採集をしたりして暮らしていました。やがて、朝鮮や中国からわたって来た人々によって、米づくりの技術が伝えられ、暮らしが大きく変化しました。協力して農作業を行うために集まり住んで「むら」ができ、また、安定して食べ物が得られるようになると、富や力をたくわえて、日本の各地に支配者が現れるようになりました。

- (1) 米づくりが始まったこの時期に作られた、うすくかたい土器を何といいますか。

- (2) この時代に最も関係の深いものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 木簡 イ 石包丁 ウ 鉄ぼう エ 奈良の大仏

- (3) この文章で述べている時期の日本はどのような社会だったといえますか。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 一人の王が日本中を征服し、ひとつの国にまとめて政治をとり行った。

イ 武士や百姓や町人（商人や職人）という身分が、はっきりと区別されるようになった。

ウ 富や技術を持った者がしだいに王となり、各地に小さな「くに」が数多くできた。

エ 食料が十分に得られるようになり、人々の富や身分は平等になった。

2

次の文章中の「わたし」はだれを表しているか、答えなさい。

わたしはのちに、大和の国の天皇として即位し、天智天皇になりました。まだ皇子だったころに、天皇をしのぐほど権力をふるうようになった蘇我氏と対決し、645年に中臣鎌足と協力してこれをたおしました。これをきっかけに、それまで豪族が支配していた土地は国のものになり、天皇中心の国づくりが進められました。

歌人としても知られていて、歌集『万葉集』の中には、わたしがよんだ歌がのせられています。

| | | | |
|--|-----------|----|-----|
| | 日本の国の成り立ち | 名前 | 学習日 |
|--|-----------|----|-----|

チャレンジ問題

1 次の遺跡の説明を読んで、問いに答えなさい。

- 吉野ヶ里遺跡(佐賀県)は、今からおよそ2000～1800年前のころの遺跡です。遺跡の集落は、周りを大きな二重のほりやさくに囲まれています。住居や高床倉庫が並び、高いやぐらも建てられていました。遺跡からは鉄器、青銅器や麻や絹で作られた布なども出土しています。
- (1) この遺跡はある時代の後半を代表する遺跡です。この時代を何時代とよびますか。答えなさい。
- (2) なぜ集落の周りを二重のほりやさくで囲んだり、高いやぐらを建てたりしたと考えられますか。答えなさい。
- (3) このころは米づくりも広がりました。それは上の文章にある何からわかりますか。答えなさい。
- (4) 鉄器、青銅器や麻や絹で作られた布などから、このころ、どこと交流があったことがわかりますか。答えなさい。

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の説明にあてはまる人物を、下のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。
- ① そのころの先進国であった中国と交流するため、遣隋使として中国につかわされた。
- ② 天皇の政治を助ける役職につき、「十七条の憲法」の制定など、多くの政治改革を行った。
- ③ 世の中の不安をしずめるため、東大寺の大仏とたくさんの国分寺をつくらせた。
- ④ 命がけの航海のすえ、中国から日本にたどり着き、日本の仏教の発展につくした。
- ア 聖徳太子 イ 鑑真 ウ 小野妹子 エ 聖武天皇
- (2) ①の説明文にある、このころの中国では、日本の国名を何と呼んでいましたか。

3 次の(1)～(5)について、時代がちがうものをそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア 中大兄皇子 イ 中臣鎌足 ウ 蘇我氏 エ 藤原道長
- (2) ア 正倉院 イ 遣隋使 ウ 遣唐使 エ 東大寺
- (3) ア 平城京 イ 山上憶良 ウ 行基 エ 聖徳太子
- (4) ア 古事記 イ 日本書紀 ウ 卑弥呼 エ 万葉集
- (5) ア 百姓一揆 イ 高床倉庫 ウ 石ぼうちょう エ 登呂遺跡

日本の国の成り立ち

【基本問題】

| 解 答 | ア ド バ イ ス |
|---|---|
| <div>1</div> <div>(1) 弥生土器</div> <div>(2) イ</div> <div>(3) ウ</div> <div>2</div> <div>なかのおおえのおうじ 中大兄皇子</div> | <div>1</div> <div>(2) 石包丁は、弥生時代に稲を収穫するときに使用されたので、石包丁が正解です。木簡というのは奈良時代から平安時代まで使われた、荷物に付ける荷ふだのようなものです。</div> <div>(3) 各地に小さな「くに」が数多くできた後、古墳時代になると、前方後円墳が日本のあちこちにつくられるようになりました。大きな前方後円墳がある地方には、勢力の強い支配者である豪族（王）がいたことになります。特に大きな前方後円墳は大和（近畿地方）に集中しています。</div> |

日本の国の成り立ち

【チャレンジ問題】

| 解答 | アドバイス |
|--|---|
| <div>1</div> <div>(1) 弥生時代</div> <div>(2) (解答例) むらとむらとの間で争いが起きるようになり，むらを敵から守るため</div> <div>(3) 高床倉庫^{たかゆか}</div> <div>(4) 中国や朝鮮半島^{ちようせん}</div> <div>2</div> <div>(1)① ウ ② ア</div> <div>③ エ ④ イ</div> <div>(2) 倭^わ</div> <div>3</div> <div>(1) エ (2) イ</div> <div>(3) エ (4) ウ</div> <div>(5) ア</div> | <div>1</div> <div>(2) 高いやぐらは見張りをするために造られました。</div> <div>(3) 高床倉庫には種もみなどをたくわえます。</div> <div>(4) 中国や朝鮮半島などから日本にわたってきた人々のことを渡来人^{とらいじん}といいます。それまで日本になかった技術や文化を伝えました。</div> <div>2</div> <div>(2) 中国の王朝は紀元前^{きげんぜん}から長いあいだにわたって，日本のことを倭と呼んでいました。</div> <div>3</div> <div>(2) 聖徳太子^{しょうとくたいし}が中国の隋^{ずい}に遣隋使^{けんずいし}を送ったのは607年，つまり7世紀のことです。8世紀^{しやうむ}の聖武天皇の時代には，中国の王朝^{とう}は唐に代わっています。</div> <div>(5) 百姓一揆^{ひやくしやういつき}は，江戸時代に農民たちが立ち上がり，役人の重い年貢^{ねんぐ}の取立てなどに対抗^{たいこう}したものです。</div> |